



CHATERED IN
NOVEMBER 21, 1955

THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S

2016年6月

札幌クラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
T.064-0811
011(561)5217

評価 Estimation

— 主 題 —

国際会長	「信念のあるミッション」
アジア会長	「愛を持って奉仕しよう」
東日本区理事	「原点に立って、未来へステップ」
北海道部部长	「地元愛」
札幌クラブ会長	「YMCA と共に」

Wichian Boonmaporjorn(タイ)
Edward K. Ong (シンガポール)
渡辺 隆 (甲府)
伏木 康 (札幌)
宮崎 善昭 (札幌)

札幌クラブ役員	
会 長	宮崎 善昭
書 記	中田 千鶴
会 計	秋葉 聡志
直前会長	伏木 康

今月の聖句

人よ、何が善であり主が何を前にお前に求めておられるかは前にお前に告げられている。
正義を行い、慈しみを愛しへりくだって神と共に歩むこと、これである。

ミカ書6章 8節 宮崎善昭選

巻頭言 コーヒーの味 柴田 伸俊



朝の軽い食事を終え、一杯のコーヒーを飲む。至福の一時である。さて私はいつの頃からコーヒーを美味しいと思って飲んでいるのだろうか。小学生や中学生の頃は間違いなく苦い飲み物として近寄らなかったはずである。

高校生時代も飲んでいて覚えはない。上京しての学生時代の一人暮らしでは、喫茶店に出入りし始めたが、ちょっと気取ってたまにコーヒーを注文していたとは思いますが、美味しいと思って飲んでいて記憶はない。できればレスカとショートケーキが自分好みであった。美味しいと思えたのはここ十年ほどに思える。おまけに気分もゆっくりして飲めるのである。不思議だ。歳で味覚が衰えたのか、歳を重ねて本物が分かるようになったのか。

コーヒーと同じように、自分にとって価値がなかったものがある時から大事に思えたり、良さが分かるようになってきたり。そういえば最近街中を歩いていると、やけに樹木や花が気になっている自分に気が付いた。他人の庭を覗き込んだり、街路樹を見上げてみたり。道行く人からは変なおじさんしか見えなと思うが……。

時計台コンサート初めて満員に！

時計台コンサートも回を重ねて20数回になると思います。座席160名の時計台ホールを満員にしたことは一度もありませんでした。ホールを満席にして「本日のチケットは売り切れました」という打ち止めの札を掲げるのが札幌クラブの悲願でした。今年はその悲願を達成しました。

この数年、ヴァイオリン奏者や声楽家との共演が続いていましたが、今年は「徹子の部屋」や「ユニセフ親善大使」で有名な黒柳徹子さんの妹で札幌在住の美容師・エッセイスト・ダンサー・スピーカーとして活躍している黒柳真理さんをお願いすることができました。こちらからお願いした訳ではないのですが、北海道新聞がそれを聞きつけ、取材に駆け付け、安田文子さんと黒柳真理さんの紹介記事が掲載してくれました。インタビュー記事が新聞に掲載された翌日から、コンサート事務局(中田会員宅)の電話は鳴り止みませんでした。(ちょっとオーバーですが)マス



コミの威力を改めて思い知らされました。

北海道YMCAのボランティアリーダーも駆けつけ若溢れる司会でコンサートを盛り上げてくれました。

(文責：中田千鶴)

2016年5月例会	在籍会員 11名	例会出席 6名	メネット 0名	メーキアツプ 1名
出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	出席者合計 7名	出席率 64%

札幌ワイズメンズクラブ 2016年6月例会

日時：2016年6月21日（火） 18:30～20:30
会場：クラッセホテル札幌 2F 会議室
札幌市中央区南1条西7丁目1-2
Tel. 011-281-3800

会費：1,200円

プログラム

18:30 食事

- | | | | |
|-----------------|---------|-------|-------|
| 19:00 | | 司会 | 中田 千鶴 |
| ① 開会点鐘 | 札幌クラブ会長 | 宮崎 善昭 | |
| ② ワイズソング、ワイズの信条 | | 全員 | |
| ③ 聖句 | | 宮崎 善昭 | |
| ④ 会長あいさつ | 会長 | 宮崎 善昭 | |
| ⑤ 誕生日、結婚記念日 | | なし | |

⑦ 卓話

「これからの北海道YMCAのビジョン」



北海道YMCA総主事
秋葉 聡志様

INCLUSIVENESS
CARING
EXCELLENCE
RESPONSIBILITY
RESPECT
HONESTY

⑧ 諸報告

- ⑨ YMCA 報告 YMCA 担当主事 佐藤 雅一
⑨ 今月の歌

知床旅情



⑩ 閉会点鐘 会長 宮崎 善昭

何故この聖句を？

札幌ワイズメンズクラブ会長 宮崎 善昭

人はいかなる人も何が善であるかを知っていますが、しかし、その善が行えないのです。イエスは自身の生き方の中で神の望む善の生き方を明確に示しました。私たちには、明らかにされた指針に従う謙虚さが求められています。

東日本区大会（長野）

2016年第19回東日本区大会は信州長野市で開催されました。札幌クラブからの出席は伏木康北海道部部长、秋葉聡志YMCA総主事、秋葉康子メネット、中田千鶴ユース事業主査の4名でした。北海道部からの出席者は（札幌クラブ4名、北見クラブ3名、十勝クラブ4名、札幌北クラブ2名）の計13名でした。

「ワイズにひかれ 善光寺」が大会のキャッチフレーズでした。「善光寺木遣り」での開会といい、「天台声明」や「善光寺詣 絵解き口演」、「信濃の国」の大合唱といい仏都長野ならではの工夫、楽しさが随所に見られました。長野クラブの会員には善光寺の住職さんもおいでとのこと。ワイズの輪がキリスト教を超えて広がっているのは素晴らしいことだと思いました。

伏木会員は部長としてパワーポイントでの「北海道部活動報告」、「役員引継ぎ式」で登壇、秋葉会員は入場式に会旗を持って行進、中田会員は「DBC 締結クラブ表彰」に登壇など、いずれも大活躍でした。

昨年の厚木、今年は長野。中都市での開催でしたが、いずれも地元の強みを生かした心に残る素晴らしい大会でした。

森本俊子大会実行委員長はじめ長野クラブの皆様には厚く御礼を申し上げます。（中田千鶴）



写真上：壇上で渡辺理事と握手する中田千鶴会員（左から3人目）この写真は札幌北クラブ中原准一会長のご厚意によるものです。

来年は川越です！

来年2017年の東日本区大会は利根川理事のお膝元元川越で行われます。川越は江戸時代に武蔵国の大藩川尾藩の城下町として栄え「小江戸川越」と呼ばれ、国から歴史都市に認定されています。東京からほど近い埼玉のノスタルジックいっばいの蔵造りの町が魅力的です。川越のシンボル「時の鐘」はNHK連続テレビ小説の舞台になったことで有名になりました。必見の町です。

区大会、地域大会。国際大会に出たワイズメンは一味違うと言われています。8月の台北のアジア地域大会、そして来年の川越へぜひ繰り出しましょう。

5月卓話

キリスト復活について

札幌クラブ会長 宮崎 善昭



キリスト教信仰の基本的部分は、**キリストの生涯、十字架、死、復活**であります。今日はそのうちの復活についてお話いたします。キリスト者(洗礼を受けた者)は使徒信条の中でキリストの復活と永遠の生命を信じているわけですが、一般の人にとって最も信じがたいものは奇跡であり、特に復活ではないかと思えます。今日お話

するのは信者でない方を信者にするためではありません。信者の一人である私が復活を度の様に見ているか、そして信じているかについてお話します。いささか専門的で退屈な面もあるかもしれません。

まず、復活については特に近現代では度の様と考えられていたのかを見ていきます。

(1) 啓蒙思想 (18世紀) (レッシング)

啓蒙思想とは、人間の自律性(合理性)を主体として考える。つまり、世界が持つ合理的秩序を明らかにする力が人間には備えられている。知識は外側の権威から与えられるものではない。主体性、個人的経験を重要視した。(自由主義神学)

現在に至るまで、蘇った人間は一人もいない、何故過去に蘇った人がいることを信じなければならないのか。

この人間合理主義は、第一次世界大戦によって破たんしている。

(2) 神話である (シュトラフス)

客観的な出来事ではなく精神における主観的概念である。(想像上の事柄である)

イエスについての記憶と主観的像の紀元1世紀の神話的な世界観によるパレスチナ文化における理解であり、現代的世界観による客観的な出来事としての復活の理解は不可能である。

(3) 弟子たちの経験としての復活 (ブルトマン)

らば受容可能であったが、今日的世界観、実存客観的復活信仰は紀元1世紀の神話的世界観な主義的、科学的の理解からは不可能である。

弟子たちの主観的経験において生じた何かである。歴史の公的領域で起こった事柄ではなく、イエスは宣教(ケリュグマ)として弟子たちにとって事実復活したのである。従って、イエス自身の説教から、イエスについてキリスト教を述べ伝える宣教へと変容したのである。

(4) 批判的探究を超えた歴史的出来事としての復活 (バルト)

「空虚な墓」こそが客観的、歴史的な復活の事実である。パウロを始め聖書記者裏付けのある歴史報告を受容することを求めたのではなく「信仰の決断」を求めたのである。信仰と歴史の相関関係はない。信仰とは、復活したキリストへの応答である。

歴史的批判は全て受け入れない。

(5) 批判的探究に開かれた歴史的出来事 (パネンベルグ)

神学的問いと答えは歴史の枠組みの中に意味を持つのである。歴史とは神が人類と共に、また人類を通して被造物全体を共有している歴史である。世界に対してはまだ隠されているが、イエスキリストによって啓示されている将来へと向かっている。

復活は普遍的で歴史的分析に基礎を置く客観的事実である。そして、歴史的解釈のカギはイエスキリストのみにある。歴史の終わりは未然形であるが、キリストの人格と業の出来事においてあらかじめ示されている。(啓示)

イエスの復活は歴史上の事実であり、その証拠に接した者全てによって赤視されている。復活は、キリストにおける神の自己啓示であり、キリストと神は同一化する。(キリスト論)

(6) イエスは十字架で死んだのか?

瀕死であったとしてもローマ兵による槍によって明らかに死んでいる。気絶ではない。

(7) 伝説、幻覚

伝説になるには新約聖書(パウロ コリント I 15章 3~5節)の書かれた期間(AD 55~57)が短すぎる。(伝説は最低100~200年後)生き証人がたくさんいるため、虚偽は書けない(反論される)

幻覚は主観的な現象であり、一度に多数が同じ幻覚を見ることはあり得ない。

(8) 状況証拠

① 弟子たちの殉教

復活を事実として経験したため、死の恐怖心がない。(殉教) 教えのみを信じたのではなく、復活の事実を経験した。教えを信じる宗教は多い。

◆ 回心：反キリスト者の回心

パウロ(キリスト教迫害者)

ヤコブ(イエスの弟)

◆ ユダヤ社会の主要な社会機構(ユダヤ人をユダヤ人たらしめた)の変化

イエスが信で五週間後に一万人を超えるユダヤ人が五つのユダヤ教の習慣やめる

- いけにえの廃止
- 律法(モーセ)のみでない
- 安息日の変更(土曜から日曜へ)
- 父・子・聖霊の神(一神教)
- 救い主を政治的意味ではなく世界の救世主

*数世紀も伝統を守り続けてきたのに何故数週間(5週間)の内に彼ら(10000人)が伝統を配したのか。受け継がれてきた伝統を大切にしそれに十分に満足していたにも拘わらず自分たちのそうした安定を犠牲にしてまで信念を変える櫃うがあった。

何故か?それは復活したイエスを経験した。(視覚に収めた)からではないのか (要約文責：中田靖泰)



YMCA ニュース 担当主事 佐藤 雅一

チャリテールン 熊本と障がい児プログラムのために

①水泳フェスティバル

6月19日(日) 9:30-12:00、YMCAのプール全体を使ってのゲーム大会が行われます。普段とは違うプールでの楽しい遊びが体験できる他、着衣永体験などを通じた水の安全教室が行われます。

②水の安全キャンペーン

毎年全国のYMCAでは、夏を迎えるこの時期に水難事故を防ぐ目的で水辺での安全について理解を深める機会を設けています。子供達にはパンフレットを配布し、家庭でも水の安全について親子で学んでもらうと共に、各クラスで着衣永体験が行われます。又、近隣の小学校と協働で、着衣永体験・水の安全教室を行う準備を進めています。

③フェアトレードフェスタ



6月19日(日) 大通り公園西6丁目フェアトレードフェスタ in さっぽろが開催され、北海道YMCAも参加します。ベトナム

YMCAハンディキャップセンターで作っているビーズキーホルダーとここなぎさんのコーヒーを販売します。YMCA以外にも30店舗ほど出店するほか、音楽・ダンス・講演などのイベントも行われます。

北海道YMCAはこのイベントに協力し、運営委員に加わると共に宝くじ協会から寄贈を受けたテントを無償で貸し出しています。会場内にはYMCAのテントが目立っていますので、是非遊びに来てください。

④温泉バスツアー

6月26日(日) 余市・小樽方面へのバスツアーが行われます。ニッカウキスキー工場見学・海鮮丼・小樽かま栄 温泉の宿 浴と盛りだくさん。

参加費 800円(税込) 参加ご希望の方は6月26日までに申し込みください。



ニッカウキスキー工場
↓
温泉
↓
かまぼこ工場



5月15日(日)、肌寒く曇り空でしたが、ランナーたちにはかえって絶好のランニング日和だったかもしれません。YMCA幼稚園の園児とその父母たち、家族ぐるみで参加するファミリーや、趣旨に賛同する企業の方々などなど、数えはしませんでした。何百人の参加者で真駒内公園はあふれかえっていました。

今年の大会委員長は札幌北ワイズメンズクラブの中原会長で、大活躍でした。(下の写真の右端はスタートの号砲を撃っている中原会長です。)



札幌クラブは例年通り、テントを建て、アイスコーヒーとキャンデーの無料配布しました。初夏の炎天下、しかもランニングの後だから当然アイスコーヒーだろうと思ったのですが、毛布が必要な寒さで、「ホットはありませんか?」と言うお客さんもいました。

下の写真: 左から、柳沼会員、伏木北海道部長、宮崎会長。この他に、秋葉会員、柴田会員負夫妻、中田会員がいろんところで働いていました。



1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。